

天真爛漫



令和7年1月28日
さくら市立押上小学校
令和7年度 第9号
文責:仁平 博幸

子どもたちのよさを認め伸ばすために

今年度、本校はさくら市教育委員会から「複数担任制の準備に向けた実践研究」という研究指定を受けています。この「研究指定」という制度は、市教育委員会が市内の全小中学校に「こういうテーマで研究を進め、児童生徒を伸ばしてほしい」というもので、本校は、令和5年度は「防災教育」、昨年度は「互いに認め合う学級・集団づくり」、そして今年度は先ほど述べた研究指定をいただいている。

この「複数担任制」は、学級担任一人にその学級の子どもたちを任せることではなく、複数の教職員が関わるようにする体制です。さまざまな教育課題への対応等を背景とした教員の負担増加が大きな課題となっていることから、従来の指導体制を見直し、学級担任にかかる負担を「チーム」として支える必要がある、という考え方から生まれたシステムと言えます。今回、この研究では、本校として、多くの教員が子どもたちに関わり、担任を支えながら（相互に支え合いながら）、子どもを多角的・多面的に見ていくような体制や活動内容などをつくっていこうと考えています。

調べてみたところ、この「複数担任制」は、全国的にも話題になりつつありますが、まだまだ大きく広がっているというわけではないようです。すでに導入している、ある小規模学校の実践事例では、全員が担任となり、1～2週間で担任する学年（学級）を変えていき、1～2ヶ月で全学年（学級）を担任する体制をとっています。学校の子どもたち全員を全ての教員が担任として関わることで、子どもたちをいろいろな角度からとらえることができ、また、子どもたちにとって多くの先生と関われる利点があります。逆に、担当する授業の学年もいろいろと変わること、定数だけの教員数では、負担が増えることが多いことなど、すぐに導入するのは難しい一面もあります。



写真上：1・2年合同活動（生活科）
下：3・4年合同遠足

今回の研究では、あくまで、「将来「複数担任制」を導入したら」と想定し、「子どもたちのよさを認め伸ばすため、どうしたら多くの教員が子どもたちに関われるか」を研究の軸に据え、「どのような指導体制が工夫できるか」「どのような教育活動ができるか」を研究・実践しています。具体的には、時間割編成を工夫し、教科担当者を入れ替える、合同授業を行うなど、いろいろな先生・複数の先生が子どもたちに関われるようになっています。また、2学年ずつ（1・2年、3・4年、5・6年）をブロックとして、2つの学年で教員同士が相談したり、活動を考えたりする体制づくり、また、子どもも2つの学年でまとまって活動する機会（合同授業、合同遠足など）の創設・実施です。



◆教科担当の入れ替え

(例) 1年担任による5年書写



2年担任による1年音楽



◆合同授業

(例) 3・4年合同体育



本校の場合、単学級、そして1学級の人数が少ないとこともあるので、2学年合同での授業や活動はメリットが大きいのではないかと感じています。準備や事前の話し合いなどは時間をとらねばならないですが、子どもたちにとっては効果が大きいのではないかと思います。また、教員の専門性や得意分野を生かした教科担当の入れ替えも効果的だと感じています。

この実践は、私が考へている学校像「だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校」に直結するものだと感じています。多くの大人（教員）が多くの子どもたちに関わり、その姿やよさを認め、伸ばすこと、それは子どもたちの自信、自己肯定感（自分を大切に思う心）、そして「幸せ」につながるからです。メリットやデメリット、成果と課題を把握しながら、来年度以降も継続して実践していくべきと考えています。（仁平博幸）

◎11月の学校の様子を紹介します。（ホームページでも紹介していますのでご覧ください。）

11月6日（木）

○まつのみチャレンジランキング2

学校運営協議会によるゲーム集会で、5つのゲームに子どもたちは楽しくチャレンジしました。（2回目）



11月17日（月）

○環境活動（5年）

環境保護学習で鬼怒川河川敷で外来植物のシナダレスズメガヤの抜き取り作業を行いました。



11月10日（月）

○芸術鑑賞教室（全学年）

プロの演奏家によるバイオリンとギターの演奏会でした。体も動かす楽しいひとときでした。



11月19日（水）

○表彰朝会（松の実賞）

今年度4回目の「松の実賞」の表彰で、15名の児童が受賞しました。おめでとう。



11月12日（水）

○授業研究会（4・5年）

市内の小中学校の多くの先生方が来校し本校の授業を参観し授業について研修を深めました。



11月19（水）・21日（金）

○サツマイモ掘り（1～4年）

農園で育ったサツマイモを収穫しました。大きさも形もさまざまなサツマイモがとれました。



◎～先輩の応援も力にして～ 校内持久走記録会（11月20日（木））

11月20日（木）、校内持久走記録会を実施しました。今年も、教え子である本校卒業生の的場亮太さん（大学時代に箱根駅伝出場、また都道府県対抗駅伝大会に県代表として出場し優勝）にお越しいただき、一緒に走っていただきました。的場さんは子どもたちを励ましながら走り、子どもたちはこれまでの練習と「先輩」の的場さんからの励ましと応援を力にして全力で走りました。

走り終えたあと、的場さんから、ご自身の小学校時代の経験や選手時代の思い出などをもとにお話していただき、子どもたちにこんなメッセージをいただきました。



「今日はがんばった自分をいっぱいほめてほしい」

「みんなには夢をもって努力しチャレンジし続けてほしい」

「友だち（時にライバル）がいることはすてきなことで、これからも仲間と認め合い、たたえあってほしい」

教え子からこんなすばらしいメッセージを子どもたちに伝えてもらい、私はうれしい気持ちでいっぱいになりました。

今年度も「全力、挑戦の記録会」になったこと、そして教え子と一緒に走り、すてきなひとときをもてたことにうれしさと幸せを感じています。